

【学校の教育目標】

心豊かで たくましい 七郷の子

進んで学ぶ子 助け合う子 きたえる子

【めざす学校像】

子どもも教職員も 今日が楽しく また明日も来たい学校

みんなが安心して生活できる環境づくり

- 小さな変化、SOSを見逃さず、「チーム学校」で対応
 - ・「チーム担任制」「教科担任制」を積極的に導入し、複数で評価、支援
 - ・「ここタン」、「こころのアンケート」等を活用し、子どもの心のSOSを見逃さない
 - ・小さな変化、SOSに気付いたら、教師や養護教諭、SC、SSW、エール、子相等が連携し、組織的対応、最適な支援につなげる
 - 「いじめのない学校づくりに取り組んでいることが感じられる」
(R6：A37%、B44%、C4%、D1%、E14%)
 - 「子どもは困ったときに相談できる教員がいると思っている」
(R6：A46%、B33%、C8%、D4%、E9%)
- 子ども主体のよりよいくらしの創造
 - ・「あいさつ」「そうじ」「歯みがき」「学び合い」を核にした取組
- みんなが心地よい空間の中で学習・生活できる環境づくり
 - 「子どもが活動しやすいように環境が整備されていますか」
(R6：A35%、B46%、C3%、D0%、E16%)

みんなが楽しく学びたいと思える授業づくり

- 子どもが自身の資質・能力の高まりを自覚できる授業づくり
 - ・自己の考えを深める「学び合い」活動の充実
 - ・協働的な学びを支える「ロイロノート」の効果的な活用
 - ・個別最適な学びを支える「スタディサプリ」の効果的な活用
- 自ら求める探究的な学習の充実
 - ・「児童自らが課題を設定し、探究を通して、自分の考えや課題を更新する学びの連続」を生み出す指導の充実
 - ・「ぎふ MIRAI's」のカリキュラムの見直し、改善
 - ・地域と密接に関わりながら学ぶ学習活動の創造
 - 「子どもは授業が楽しく、分かりやすいと言っている」
(R6：A25%、B48%、C14%、D4%、E9%)

* 「学校の姿アンケート」

A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：あてはまらない E：よく分からない

働き方改革の推進・学校教育のアップデート

- 教育の質を向上するための教師の「余白」の創出 「子どもにとって本当に必要か」という観点から教育課程の見直し、地域人材等の活用
- 主体的に学び続ける教師 子どもたちの学び（授業観・学習観）の転換とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、子ども達のロールモデルに